

「日本一辛い村」をうたった福島県平田村で、激辛唐辛子ハバネロの収穫が最盛期を迎えている。



道の駅ひらたへ運び込まれた激辛唐辛子ハバネロ（15日、福島県平田村）

福島ハバネロ 復興の希望 日本一辛い村、収穫ピーク

「日本一辛い村」をうたった福島県平田村で、激辛唐辛子ハバネロの収穫が最盛期を迎えている。東京電力福島第1原子力発電所事故の風評被害に苦しむ2012年、農家が栽培を始め、徐々に関連商品の人気に火が付いた。人口約5200人の村に希望を与えている。

ソフトクリームやカレーなどハバネロを使った商品を開発、販売する道の駅ひらた（高野哲也駅長）に9月中旬、収穫された赤色の実が続々とトラックなどで運び込まれた。買い上げは13年前の150キから毎年増え、今年は過去最多の10トを見込む。村は買い取りに補助も出している。

他県からも商品の注文は多く、供給が追いつかないほどの好評ぶり。高野駅長は「（ハバネロの存在が）新規就農や移住促進につながれば」と期待を寄せている。

市街にクマ

が散弾銃で駆除。人的被害はなかった。クマは体

0時20分、同法に基づき、たため、人に危険が迫る際に警察官が発砲を命

さって	きよう6時9	12	15	18	21	あす	あさって	きよう6時9	12	15
-----	--------	----	----	----	----	----	------	--------	----	----